

決して
忘れられない
日々がある

—
閃光の影で
—

長崎



©2025「長崎 閃光の影で」製作委員会

命を救おうと奔走し、多くの命を
葬った少女たちの一か月の物語



一変した日常の中で看護学生として、人として、使命を全うしようとした少女たちの戦いが始まった。

1945年、長崎。看護学生の3人は、空襲による休校を機に帰郷し、家族や友人との平穏な時間を過ごしていた。しかし、8月9日午前11時2分、原子爆弾が投下され、その日常は一瞬にして崩れ去る。街は廃墟と化し、彼女たちは未熟ながらも看護学生として負傷者の救護に奔走する。救える命よりも多くの命を葬らなければならないという非情な現実の中で、彼女たちは命の尊さ、そして生きる意味を問い続ける。

入 場 無 料



入場整理券が必要です

8/ 1 土 200 人

定員

同時開催

平和首長会議原爆ポスターの展示

午後1時00分開演

(午後0時30分開場予定)



整理券は7月3日【金】から下記施設で配布

キラリエホール

大東市立市民会館2階

- ・人権室
- ・生涯学習センター「アクロス」
- ・北条人権文化センター
- ・市民会館
- ・野崎人権文化センター
- ・来ぶらり南郷

主催・問い合わせ

大東市 人権室

〒574-8555 大東市谷川1丁目1-1

TEL.072-870-0441 FAX.072-872-2268

電子申請はこちら→

